

令和2年度佐久地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録（要旨）

日 時：令和2年11月4日（水）

午前10時～午前11時30分

場 所：佐久市役所議会棟全員協議会室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事

(1) 佐久地域定住自立圏共生ビジョンの変更について

委 員	コロナ禍で人口動態が従来と大きく変わってきていますが、構成市町村の人口推移や人口動態の現状を把握したうえで事業を進められているのでしょうか。
事務局	共生ビジョンにおいて指標としている人口につきまして、その正確な数値は、国勢調査の結果から把握しています。従いまして、現在実施されている国勢調査のデータを新たな共生ビジョンに反映してまいります。 ご指摘の件に関して、全市町村において住民登録を行っており、ある程度の人の流れ・動きは掴んでいるものの、各事業の令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症による影響は少ないものとして見込み、影響を考慮しておりません。
委 員	国・県の統計データを見ると、令和2年4月から8月までの間に、首都圏から長野県に相当数の流入があったようですが、佐久地域にどの程度の人口増があったか国勢調査を待たずに把握できると思うので、次期ではなく今年度から政策を展開していくべきではないでしょうか。
事務局	改めて各部会に共有し、今後の検討を深めてまいります。
委 員	資料3の1ページ目、成果指標No.3「佐久地域休日小児科急病診療センター登録医師数」について、成果や課題等の分析で「登録医師数が減っているが、今後については、地域の小児科医の高齢化が進み、新規参加医師が見込めない状況にあるため、医師会の協力の下、患者数の減少を目指した保健医療事業を推進していく」と

事務局	<p>ありますが、患者数の減少と登録医師の確保との考え方を教えてください。</p> <p>登録医師数の新規確保が現実的に難しい状況にあるため、引き続き登録医師数の増加に努めつつ、休日に小児科にかからなくても済むような医療体制を目指し、患者数を減少させられるよう進めていく考えです。</p>
会長	<p>共生ビジョンの変更についてのご意見はありませんでしたので、この懇談会の場としては、変更について了承するという事で認めさせていただきたいと思います。</p> <p>(異議なし)</p>

## (2) 意見交換

委員	<p>1点目、懇談会開催のタイミングについて、実績値更新等の都合上難しいのかもしれませんが、11月は遅いのではと感じます。</p> <p>2点目、先ほども他の委員さんからありましたが、コロナ禍でリモートワークなどが進んでいる中、圏域として人口増を目指すのであれば、リモートワーク環境の推進や保健・福祉分野について悠長に捉えていては間に合わないと思うので、より柔軟に、早めの対応を進めるべきではないでしょうか。</p> <p>3点目、資料2の29ページ、事業番号13「地産地消販路開拓推進事業」について、佐久市の令和2年度計画額が令和元年度実績額の倍になっている理由を教えてください。</p>
事務局	<p>1点目につきまして、本懇談会でいただいたご意見を翌年度以降の事業計画に反映できるタイミングを検討して参ります。</p> <p>2点目につきまして、確認の上、議事録送付の際に回答させていただきます。</p> <p><b>【確認の結果】</b>佐久市では、12月補正予算でリモートワークの推進について取り組んでいるところです。従来の施策とは異なり、住民票を移さなくても補助等を利用できる新しいかたちで移住施策を進めております。社会増の推進に向け、雇用対策とセットで施策を進めていく考えです。</p>

	<p>3点目につきまして、コロナ対策で6月補正を行っており、ヘルシーテラス佐久南のインターネット販売推進のため、同施設ホームページリニューアルの負担金分、前年度より事業費が増えております。</p>
委員	<p>特に令和元年東日本台風を機に、人と人のネットワークが重要視されています。社会教育関連でこういった取組がされているか、まとめました。今後は、防災や自殺対策の面からも地域ネットワークの見直しをお願いしたいです。</p>
事務局	<p>長野県は、全国的にみても広域連合や定住自立圏などの体制が確立された地域です。今後も佐久地域で連携して取り組んでいきたいと思えます。</p>
委員	<p>1点目、情報ネットワークについて、より広域化を進め、行政コストの削減などにつなげていけたらよいのではないのでしょうか。</p> <p>2点目、資料3の2ページ、成果指標No.13「農業情報ネットワークの構築」として認定農業者の増加を目標に、農業簿記の研修会を施策として挙げられていますが、農業の振興の観点から考えたときに、取組の方向性として簿記研修会は合っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目につきまして、コロナ禍で需要はさらに高まっていくと考えられることから、推進していきたいと思えます。</p> <p>2点目につきまして、認定農業者の実態として、個人事業主として働かれている方が多く、大規模化が促進されづらいといった課題があるため、農家間の情報共有を図っていきたいと考えております。ご指摘を受け、認定農業者増に向けた取組の方法や内容については、さらに検討を進めていきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

(3) その他 特になし

4 閉 会